

**JSP**



2018年3月期

# 決算説明会

---

株式会社JSP

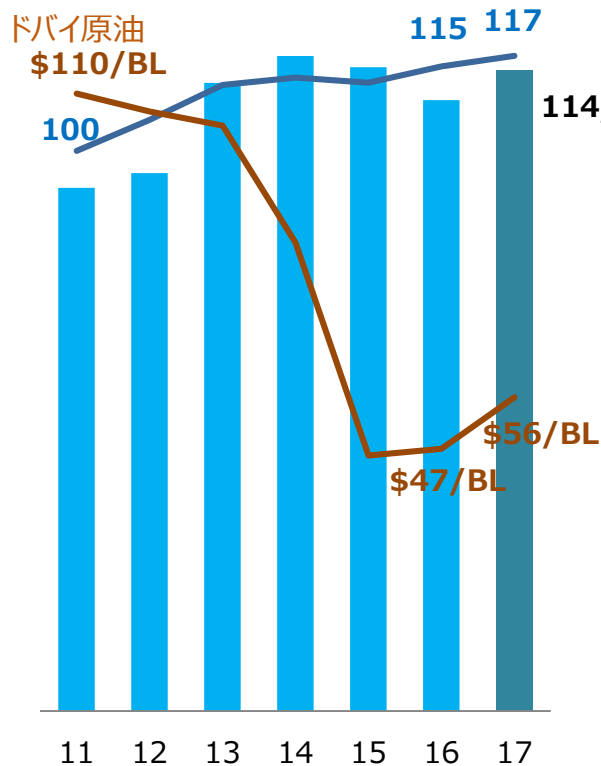
1. 2018年3月期決算概要（2017年度）
2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）
3. 2018年3月期決算補足（2017年度補足）
4. 生産能力増強及び新製品紹介

# 2 業績ハイライト

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

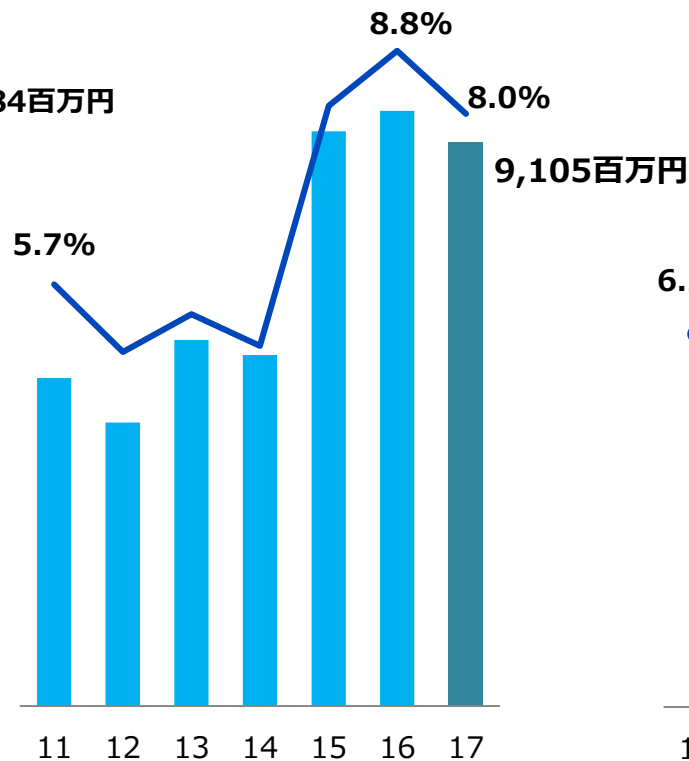
## Growth

売上高・販売数量



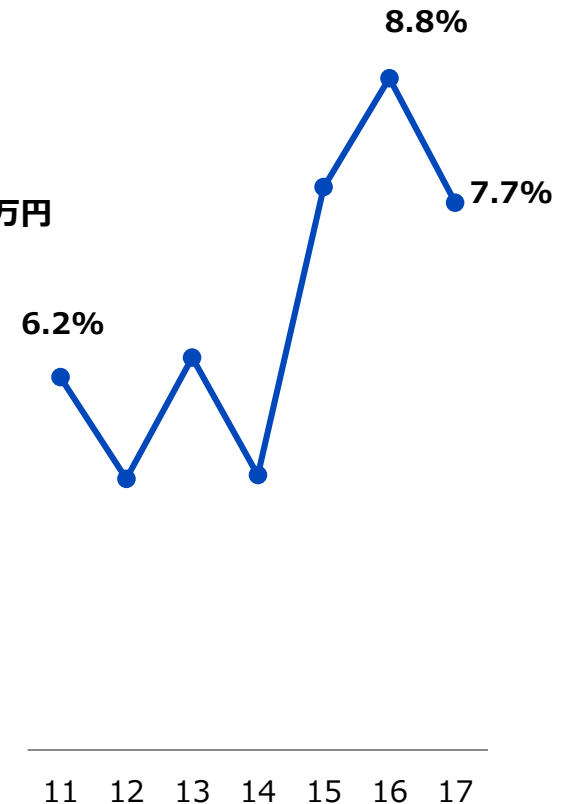
## Margin

営業利益・営業利益率



## Return

総資産経常利益率



販売数量 2011年 = 100

項目 (単位：百万円)	2016年度 実績	2017年度 業績予想 (2018/1/31)	2017年度 実績	前年比	公表比
売上高	109,048	116,500	<b>114,284</b>	+4.8%	△1.9%
営業利益	9,612	9,500	<b>9,105</b>	△5.3%	△4.2%
経常利益	10,033	9,700	<b>9,217</b>	△8.1%	△5.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,301	6,700	<b>6,853</b>	△6.1%	+2.3%

●為替：112.0円/\$ 127.2円/€ 16.6円/元(2016年度 109.4円/\$ 120.6円/€ 16.4円/元)

●原油価格：\$56.0/バーレル（2016年度 \$46.8/バーレル）ドバイ原油価格

●経済状況：米国／自動車販売に陰り、メキシコ／堅調、ブラジル／景気は回復、  
欧州／内需・輸出ともに好調、中国／安定成長継続、その他アジア地区／穏やかな景気  
回復が継続、日本／原燃料・輸送コスト上昇などにより回復は斑模様

●連結業績

売上高：販売数量、高付加価値製品比率の増加や製品価格改定により前年比+4.8%

営業利益：国内の運送費値上がり、4Qの原燃料価格の急騰、一部需要低迷あり、前年比△5.3%

項目 (単位：百万円)	2016年度 実績	2017年度 実績	前年比
売上高	37,929	<b>39,024</b>	+2.9%
営業利益	3,045	<b>2,640</b>	△13.3%

高付加価値製品販売増で売上増、原材料価格・運送費上昇で利益減少

### 食品包材・容器



「スチレンペーパー」

- 電子レンジ対応容器向けは伸長
- 食品トレー・即席麺容器向け需要減

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」  
「ミラボード」

- FPD基板輸送用緩衝材等の付加価値製品の販売が国内外で好調

### 住宅用断熱材・土木資材



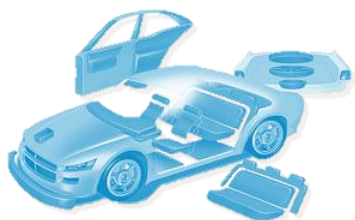
「ミラフォーム」

- 割付断裁品、高断熱製品の販売好調

項目 (単位：百万円)	2016年度 実績	2017年度 実績	前年比
売上高	65,354	69,483	+6.3%
営業利益	7,376	7,219	△2.1%

数量増加・価格改定により売上増、国内原燃料価格上昇の影響で利益減少

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ピーブロック」  
英名 (ARPRO)  
「エレンポールNEO」



- 自動車の新規部品採用拡大
- 日本：前年度並み
- 北米・欧州：需要増加、好調に推移
- ブラジル：自動車生産回復、新規需要開拓により好調
- 中国・アセアン・台湾・韓国：販売数量増

発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品



「スチロダイア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」  
「スーパーブロー」

- 「スチロダイア」水産・農業分野で需要減少、価格改定・機能性製品販売増で売上増加
- 「スーパーブロー」フロート向けは売上増、全体では前年度並み

項目 (単位：百万円)	2016年度 実績	2017年度 実績	前年比
売上高	5,764	<b>5,777</b>	+0.2%
営業利益	148	<b>138</b>	△6.6%

国内：売上増、中国：売上減

### 国内一般包材

- 自動車関連の梱包材需要増



自動車部品トレー



光学部品緩衝材

### 中国一般包材

- 新規需要の伸び悩みにより売上減



I T 家電緩衝材



1. 2018年3月期決算概要（2017年度）
2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）
3. 2018年3月期決算補足（2017年度補足）
4. 生産能力増強及び新製品紹介

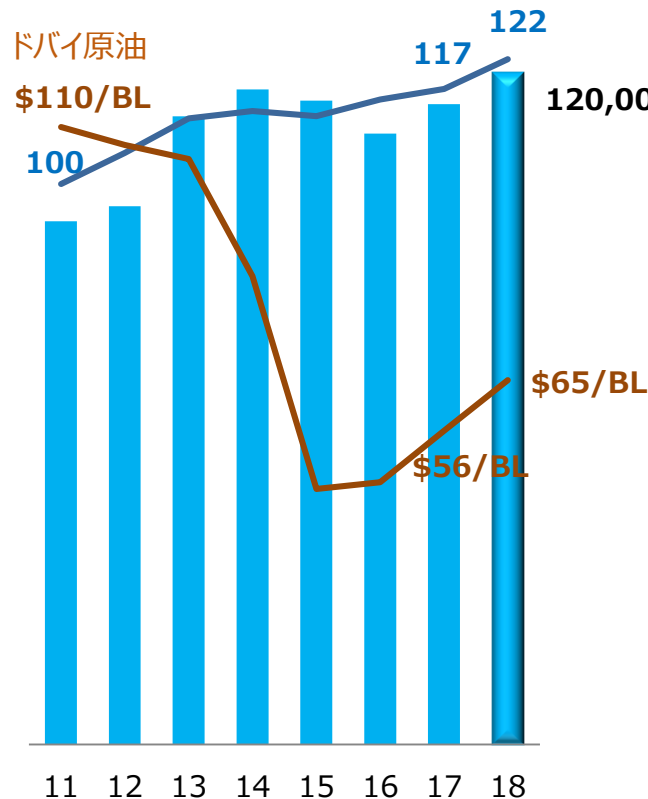


項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 見通し	前年比
売上高	114,284	<b>120,000</b>	+5.0%
営業利益	9,105	<b>9,500</b>	+4.3%
経常利益	9,217	<b>9,800</b>	+6.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,853	<b>7,000</b>	+2.1%

- 為替：105円/\$、132円/€、16.7円/元（2017年 112.0円/\$、127.2円/€、16.6円/元）
- 原油価格：\$65/バレル（2017年 \$56.0/バレル）トバイ原油価格
- 国内：独自技術に基づいた差異化製品の拡販  
高断熱材、FPD基板輸送用緩衝材等の需要が堅調に推移する見込み
- 海外：販売数量は前年比約7%増加、欧米で自動車部品採用拡大、中国で輸送用通函、包装用緩衝材関連の販売が好調に推移する見通し、その他アジア地域は前期並み
- 配当：1株当たりの配当金（予想）年間 50円（中間25円、期末25円（予想））

## Growth

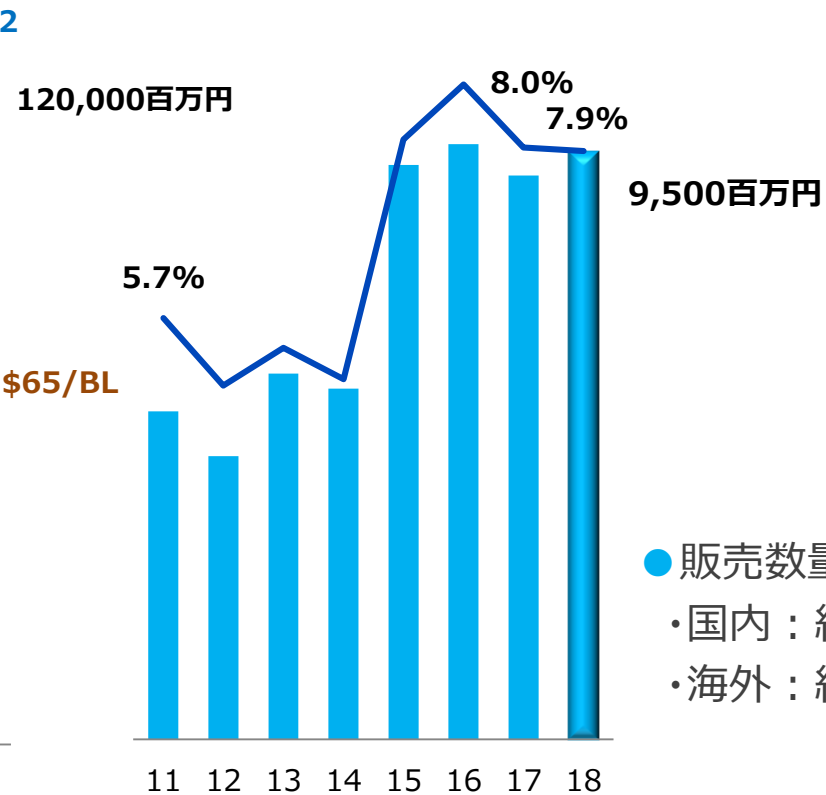
売上高・販売数量



販売数量 2011年 = 100

## Margin

営業利益・営業利益率



- 販売数量4.5%増
- ・国内：約3%増
- ・海外：約7%増

項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 見通し	前年比
売上高	39,024	42,161	+8.0%
営業利益	2,640	2,935	+11.2%

重点施策：高付加価値製品の販売に注力、製品の差異化を推進

### 食品包材・容器



「耐熱PSP」 「木目PSP」

- 耐熱食品容器の拡販
- 末端市場への深耕

### 産業用包装材



「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」  
「ミラボード」

- 差異化製品による新市場  
・新用途開拓を進める
- 海外向けは20%増販を目指す

### 住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム」 「Jウォールブロック」

- 高断熱性能ミラフォームの拡販
- Jウォールブロックの拡販
- 土木分野のシェア拡大
- 高断熱化技術の研鑽

項目 (単位：百万円)	2017年度 実績	2018年度 見通し	前年比
売上高	69,483	71,934	+3.5%
営業利益	7,219	7,359	+1.9%

重点施策：EPP 新用途・新技術・新素材で差異化、EPS 機能性製品の拡販

自動車部品・家電緩衝材・スポーツシューズ



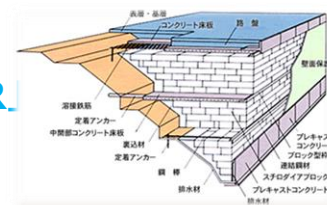
「ピーブロック」 「エレンポールNEO」 「ARGILIX」

- 自動車の新規部品の採用拡大
- FPD基板輸送用緩衝材拡販
- 柔軟性発泡体を販売開始



発泡性ポリスチレン・ハイブリッド成形品

「スチロダイア」  
「ヒートポールGR」  
「クリアポール」



- EPS盛土工法
- エコキュート保温材
- 自動車部品
- 消失模型鋳造



# 12 セグメント別見通し・設備投資・減価償却

2018年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

項目 (単位：百万円)	2017年度実績		2018年度見通し		2017年度差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
押出事業	39,024	2,640	<b>42,161</b>	<b>2,935</b>	+3,137	+295
ビーズ事業	69,483	7,219	<b>71,934</b>	<b>7,359</b>	+2,451	+140
その他	5,777	138	<b>5,905</b>	<b>132</b>	+128	△6
全社及び控除	---	△892	---	△ <b>926</b>	---	△34
合計	114,284	9,105	<b>120,000</b>	<b>9,500</b>	+5,716	+395

- 設備投資額 約 12,000百万円  
(増産・競争力強化約6,700百万円、維持約5,300百万円)
- 減価償却費 約 5,400百万円  
(2017年度比 約330百万円増加)

1. 2018年3月期決算概要（2017年度）
2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）
3. 2018年3月期決算補足（2017年度補足）
4. 生産能力増強及び新製品紹介

(%は表示は対前期増減率)

年度 (単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
2017年度	114,284 (+4.8%)	9,105 (△5.3%)	9,217 (△8.1%)	6,853 (△6.1%)
2016年度	109,048 (△5.1%)	9,612 (+3.6%)	10,033 (+10.2%)	7,301 (+23.5%)

包括利益：2017年度 9,171百万円 2016年度 5,748百万円

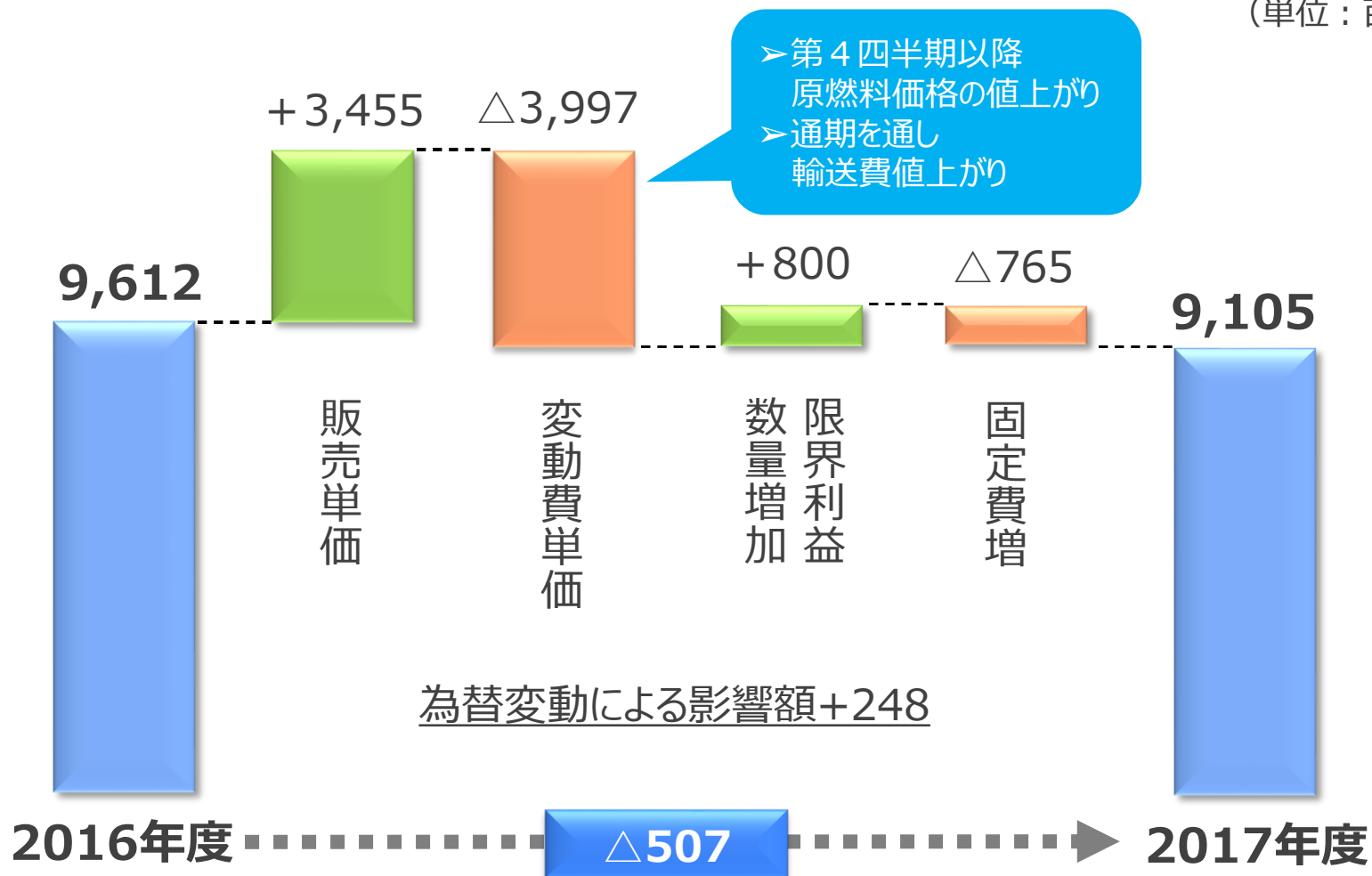
年度	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2017年度	229円91銭	9.0%	7.7%	8.0%
2016年度	244円94銭	10.4%	8.8%	8.8%

# 営業利益の増減要因

2017年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位：百万円)





# 16 営業外損益・特別損益

2017年度補足  
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 営業外損益

科目 (単位：百万円)	2016年度	2017年度
受取利息	170	<b>183</b>
為替差益	41	---
その他	431	<b>394</b>
営業外収益合計	642	<b>577</b>
支払利息	111	<b>119</b>
為替差損	---	<b>200</b>
その他	110	<b>146</b>
営業外費用合計	221	<b>466</b>

## 特別損益

科目 (単位：百万円)	2016年度	2017年度
固定資産売却益	32	<b>403</b>
投資有価証券売却益	20	---
特別利益合計	53	<b>403</b>
固定資産売却損	4	<b>13</b>
固定資産除却損	69	<b>119</b>
特別損失合計	73	<b>132</b>

年度 (単位：百万円)	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2017年度末	125,728	84,105	63.3%	2,667円72銭
2016年度末	113,151	76,778	64.1%	2,433円10銭

(参考) 自己資本  
 2017年度末 79,524百万円  
 2016年度末 72,532百万円

年度 (単位：百万円)	現金及び預金	短期借入金※	長期借入金	借入金合計
2017年度末	16,963	10,311	5,712	16,023
2016年度末	13,436	9,850	4,756	14,606

※1年内返済予定の長期借入金を含む

科目 (単位：百万円)		2016年度末	2017年度末	増減額
資産の部	流動資産	60,208	<b>67,909</b>	7,701
	固定資産	52,943	<b>57,818</b>	4,875
資産合計		113,151	<b>125,728</b>	12,576
負債の部	流動負債	29,667	<b>33,145</b>	3,477
	固定負債	6,705	<b>8,477</b>	1,771
	負債合計	36,373	<b>41,622</b>	5,249
純資産の部	株主資本	73,488	<b>78,700</b>	5,211
	その他包括利益累計額	△955	<b>824</b>	1,780
	非支配株主持分	4,245	<b>4,581</b>	335
	純資産合計	76,778	<b>84,105</b>	7,327
負債純資産合計		113,151	<b>125,728</b>	12,576

科目 (単位：百万円)		2016年度末	2017年度末	増減額
株主資本	資本金	10,128	<b>10,128</b>	—
	資本準備金	13,405	<b>13,405</b>	—
	利益剰余金	51,336	<b>56,551</b>	5,214
	自己株式	△1,382	<b>△1,385</b>	△2
	合計	73,488	<b>78,700</b>	5,211
その他の包括 利益累計額	その他有価証券評価差額金	239	<b>244</b>	5
	為替換算調整勘定	△1,694	<b>△483</b>	1,211
	退職給付に係る調整累計額	499	<b>1,062</b>	563
	合計	△955	<b>824</b>	1,780
非支配株主持分		4,245	<b>4,581</b>	335
純資産合計		76,778	<b>84,105</b>	7,327

# キャッシュフロー 設備投資額・減価償却費・研究開発費

2017年度補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## キャッシュフロー

年度 (単位：百万円)	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2017年度	10,849	△7,661	△506	10,807
2016年度	10,688	△6,188	△6,497	7,965

## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

年度 (単位：百万円)	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2017年度	8,153	5,072	2,123
2016年度	6,236	4,952	2,178

(注) 設備投資額はキャッシュベースであります。

1. 2018年3月期決算概要（2017年度）
2. 2019年3月期決算見通し（2018年度見通し）
3. 2018年3月期決算補足（2017年度補足）
4. 生産能力増強及び新製品紹介

## 中国武漢 発泡ポリプロピレンビーズ工場「ピーブロック」



中国全体 生産能力30,000トン  
(無錫、東莞、武漢、重慶、長春)

## 背景

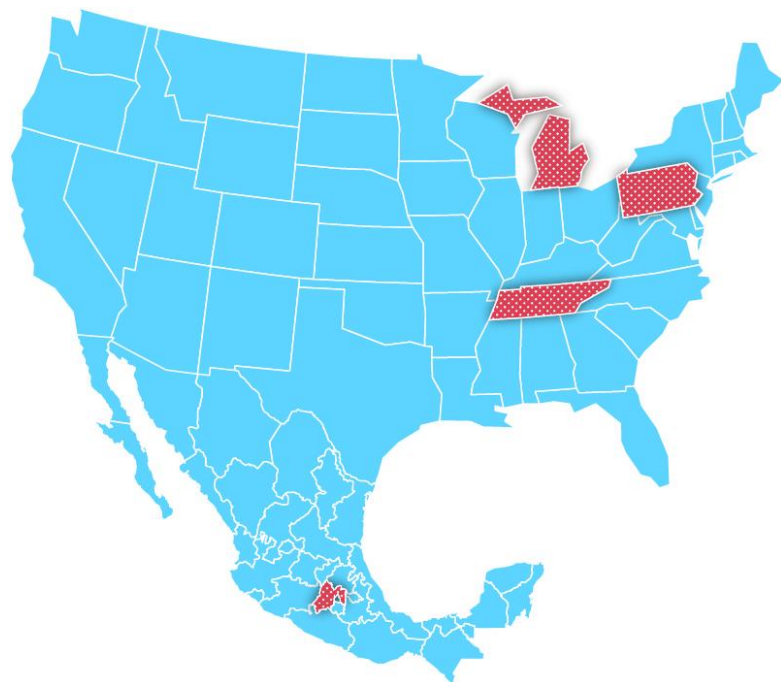
- 中国 内陸部にも富裕層が増え自動車の需要も増加
- 環境汚染の深刻化から車体の軽量化要求が高まる

## 生産能力増強の概要（完了）

①社名	杰斯比塑料（武漢）有限公司
②所在地	中華人民共和国「武漢経済技術開発区」
③事業内容	発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売



## 北米 発泡ポリプロピレンビーズ・成形工場「ピーブロック/ARPRO」



## 背景

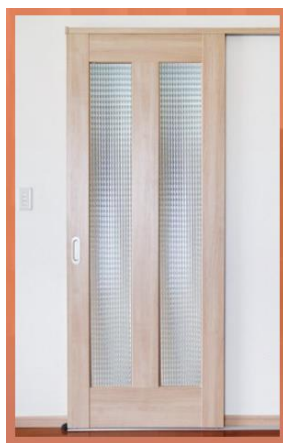
- 引き続き好調な自動車販売
- 多くのシートコア部品を受注、日系車種にも拡大
- 競技用グラウンド基礎緩衝材の需要も拡大傾向

## 生産能力増強の概要（計画）

①社名	JSP International Group Ltd.
②所在地	米国：ミシガン州、ペンシルバニア州、テネシー州 メキシコ：メヒコ州
③事業内容	発泡ポリプロピレンビーズ・成形品の製造及び販売
④生産能力	25%増
⑤投資金額	約10億円（2017年度～2018年度）



## アクリル系樹脂 「アクリエースDS」の上市



建具



パーティション

## 製品の特長

- 優れた強度（ガラスの4～5倍）
- 割れても飛び散りにくい
- 軽量（ガラスの半分）
- 加工が容易
- 優れた耐候性

- チェッカーガラスに替わるチェッカー柄の  
アクリル系樹脂板
- ドア、家具、商空間ディスプレイ 等の用途に

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

株式会社 J S P

お問合せ Tel 03-6212-6306 広報 IR室